

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

措置の区分	具体的な措置の内容	措置の目標
エネルギーの使用の合理化	<p>各部門、各人による消灯の徹底。(自主点検リストを使用する。) 20時以降24時まで、毎時、遠方操作により、全館オフィスの天井照明を一斉消灯する。 PC機器などの電源オフを励行する。 離席時は、PC画面をブラック・フェイスにして節電を図る。 PCについて、CRTタイプから省電力の液晶タイプに順次更新する。 設備の更新時に、省エネ・システムを採用する。 設備システムの高効率運転を行う。</p>	<p>電気エネルギーについて、毎年、対前年比でマイナス4%の目標を掲げる。</p>
廃棄物の排出抑制	<p>リサイクルについて、ゴミゼロをいっそう促進すべく、正しい分別を徹底する。 原則、OHPフィルムの使用を止め、PCプロジェクターを使用する。 紙類の削減 (コピー機について) ・コピー機の基本設定を両面コピーにする。 ・1枚の用紙に複数枚の縮小コピーを可能にする。 (紙の使用について) ・裏紙利用を推進する。</p>	<p>当面、2002年度は、 コピー使用量を対前年比マイナス10%を目標にする。 OA用紙削減を対前年比マイナス10%を目標にする。 廃棄物総排出量を対前年比マイナス10%を目標にする。 ゴミゼロ事業所を目指し、高いリサイクル率99%超を維持する。</p>
紙の使用量の抑制	<p>紙類の削減 (コピー機について) ・コピー機の基本設定を両面コピーにする。 ・1枚に複数枚の縮小コピーを可能にする。 (紙の使用について) ・裏紙利用を推進する。 PC、ネットワーク、WEBの拡大ならびに積極的な活用によりプリント・アウトの紙を削減する。</p>	<p>当面、2002年度は、 コピー使用量を対前年比マイナス10%を目標にする。 OA用紙削減を対前年比マイナス10%を目標にする。</p>

(2) その他地球温暖化対策に係る措置

措 置

日本アイ・ビー・エム（株）の社員に対し、e-Work制度を拡大していく。

注）e-Work制度とは、
 自宅に高速のBroadbandの通信回線（ADSL、CATV）を引き、PCシステムにより週1日～5日の在宅勤務を可能とするもので、事業所への通勤による輸送エネルギーを減少させる効果をもつ。